



おだしか健康レポート

ODASHIKA HEALTH REPORT

— 17 —

毎月1回掲載

今月は歯にまつわる内容になります。

ひとは鶴見大学歯学部小児歯科学教授の朝田芳信先生の寄稿になります。朝田先生は日本歯科医学会をはじめにも関連する学会の理事や理事長を歴任され、小田原歯科医師会の運営する小田原市歯科二次診療所の指導専門歯科医として診療と私たちの指導に長く従事しており、この地域に不可欠な先生になります。隔月で子どもの歯にまつわる話をしていきます。

学術委員会からは今さら聞けない歯の話をもとに動物、とくに哺乳類を例にして説明していきます。

小田原歯科医師会に

小田原歯科医師会会長 安西 由充



あさひ・よしみつ 1967年生まれ、小田原市出身。日本歯科大学歯学部卒業。

67年生まれ、小田原市出身。日本歯科大学歯学部卒業。深い団体活動として「認知症をにんちしよう会」を紹介しています。



子どもの歯と口の中の病気について

朝田 芳信



あさひ・よしのぶ 1960年生まれ、東京都出身。日本歯科大学歯学部卒業。博士歯学。2008年12月日本小児歯科学会理事長。2012年16年、鶴見大学歯学部附属病院院長。

むし歯や歯肉炎(歯肉が腫れて出血しやすい状態)は、子どもの歯と口の代表的な病気です。近年、厚生労働省の調査によれば、むし歯を持つ子どもの割合が急激に減少し、3歳児で15.8%、12歳児で35.5%と報告され、約25年前に比べ半分以下になっていきました。しかしながら全体としてむし歯を持つ子どもの割合が減少する中、3歳児から5歳児の間では、その割合が顕著に増加しています。その

の大きな要因は、保育所や幼稚園へ通い始める時期と重なると子どもの生活環境に大きな変化がみられるためです。さらに、乳歯が生えそろうころ、むし歯の原因菌であるミュータンス菌が定着しやすくなるなど、口の中の環境も大きく変化します。また、歯みがき習慣が定着していない子どもでは、むし歯のリスクに加え、歯肉炎がみられやすくなります。歯肉炎は、5〜9歳児で約36%と高い値を示し、増加傾向にあるため、幼児期から歯周病予防を意図した歯みがき習慣づくりが大切になります。

子どもの中で、歯並びや咬み合わせに関係する病気のひとつとして、上唇小帯(上唇の裏のすじ)の異常(図3)や吸指癖(指を吸う癖)、舌突出癖(舌を無意識のうちに上下前歯の間に出す癖)が、呼吸(鼻呼吸が行えず、あるいはその割合が少なく、長時間にわたって口で呼吸すること)などの口腔習癖(こと)などの口腔習癖が挙げられます。上唇小帯の位置や形態は、顎顔面の成長によ

り変化するため、歯並びに影響がみられない限り永久歯の交換期である7歳頃まで経過をみます。また、口腔習癖については、3歳までは生理的な問題ととらえ、3歳から5歳までは注意深く見守り、5歳を過ぎた頃から必要に応じて筋機能訓練を始めることが推奨されています。

2018年、口腔機能に関する新たな病名が制定されました。高齢者を対象とした口腔機能低下症と子どもを対象とした口腔機能不全症です。口腔機能不全症とは、子どもの口腔機能に不全や異常があるわけではなく、18歳未満の子

どもにおいて、「食べる」

「話す」呼吸するなどの口腔機能が十分に発達していない、もしくは正常に機能獲得できていない状態と定義されています。子どもの口腔機能は、常に機能の発達・獲得(ハビリエーション)の過程にあり、ライフステージにおいて正常な状態も変化し、機能の発達が遅れたり誤った機能の獲得が起こりやすいため、その修正を早い段階で行うことが重要になります。子どもの頃から口腔機能を育てることは、人生100年時代を豊かに生きるための健康寿命の延伸にとって重要な役割を担っているのです。

歯のことであれば、何のトラブルもなければあまり考えることはありません。歯は私たちの口の中でのような動きをするので、人間、動物の歯を比べてみましょう。ここでは、ヒトに近い哺乳類を取り上げます。哺乳類には主に植物を食べる草食動物、主に動物の肉を食べる肉食動物、植物も動物の肉両方食べる雑食動物があります。

草食動物の歯について
草食動物としてウマの歯を見てみましょう。ウマの歯は切歯が12本、犬歯が4本、オスの馬に狼歯2本、臼歯が24本あり、計40〜42本あります。生後1歳半頃、1年後ころから永久歯が生え始め、4年半ほどですべての歯が永久歯になります。ウマは口先にある切歯で草食動物の歯について

肉食動物の歯について
次は肉食動物としてトラの歯を見てみましょう。トラには前歯12本、犬歯4本、前臼歯10本、臼歯4本、計30本です。ライオンやチーターなどのネコ科の動物の歯の数は一緒です。(写真2)トラはまずこの特徴的な犬歯と前足にある鋭い爪で獲物をしっかりとらえます。そして鋭い前

歯を噛み砕くことで、肉を食物をすり潰し、肉を食物の歯は植物の歯は肉を切り裂きやすくなっています。このように食物を食べやすい歯の形をしています。

ヒトの歯を見てみましょう。ヒトは野菜、肉、米や小麦などの穀物類など様々なものを食べるの雑食性になります。臼歯

切歯や犬歯は肉や野菜をかじりこめる機能があります。これらの前歯はその機能以上に社会生活を送るうえで見た目の問題が大きくなります。小臼歯

まとめ
ひとの歯は肉、野菜いろいろなものを食べられる形をしている。歯を失うと食べる機能が落ちる。機能の面からも歯の健康は大切

や犬臼歯は食物を飲み込みやすくするためにすり潰していく役目があります。ヒトは歯を失うことによる不自由さを補うために、食べにくいものを選んだり、食べやすく調理したりすることもできます。また、失った部分を補う入れ歯という手段を持っています。しかし、いずれの方法をとったとしても元々もつ機能と同じという訳にはいきません。このような面からも健康な歯を維持していくことは大切なことになります。

おわりに今回の動物の歯に関しては小田原市入生田にある生命の星 地球博物館の学芸員の協力で撮影したものです。生命の星・地球博物館では事前に連絡してもらえば、希望する標本を用意してくれるそうです。興味のある方は連絡してみてください。

小田原歯科医師会事務局

一般社団法人小田原歯科医師会は、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の歯科医師会会員で構成されています。このホームページでは、一般社団法人小田原歯科医師会が主催、後援または協力している事業とそれに関する情報やお知らせを紹介しています。

TEL. 0465(49) 1311 FAX. 0465(49) 1551 〒250-0875 小田原市南鴨宮2-27-19 https://odawara-dent.or.jp/ 小田原歯科医師会 検索

歯と口腔に関わるご相談、住診・歯科訪問診療のご相談は 一般社団法人小田原歯科医師会 地域支援歯科連携室 まで TEL/FAX 0465(49) 1319 月~金 午前9時~正午 午後1時~午後5時

今さら聞けない歯の基本のはなし

小田原歯科医師会学術委員会 柏木 勢



かしわき・せい 1967年生まれ、小田原市出身。東京歯科大学歯学部卒業。歯学博士。

植物を切り取り、奥にある臼歯に運ばれ、顎を左右に動かすことによりすり潰されて飲み込まれていきます。(写真1)

これらの歯は年間2〜4回、けいけん、使用することですり減り、一生を終えるまで歯がなくなることはありません。

歯の重要性
歯の重要性

写真を見ると分かりますが、草食動物と肉食動物の臼歯は名前が同じでも歯の形は全然違います。草食動物の歯は植物をすり潰すのに適した形になっており、肉食動物の歯は肉を切り裂きやすくなっています。このように食物を食べやすい歯の形をしています。

ヒトの歯を見てみましょう。ヒトは野菜、肉、米や小麦などの穀物類など様々なものを食べるの雑食性になります。臼歯

切歯や犬歯は肉や野菜をかじりこめる機能があります。これらの前歯はその機能以上に社会生活を送るうえで見た目の問題が大きくなります。小臼歯

まとめ
ひとの歯は肉、野菜いろいろなものを食べられる形をしている。歯を失うと食べる機能が落ちる。機能の面からも歯の健康は大切

や犬臼歯は食物を飲み込みやすくするためにすり潰していく役目があります。ヒトは歯を失うことによる不自由さを補うために、食べにくいものを選んだり、食べやすく調理したりすることもできます。また、失った部分を補う入れ歯という手段を持っています。しかし、いずれの方法をとったとしても元々もつ機能と同じという訳にはいきません。このような面からも健康な歯を維持していくことは大切なことになります。

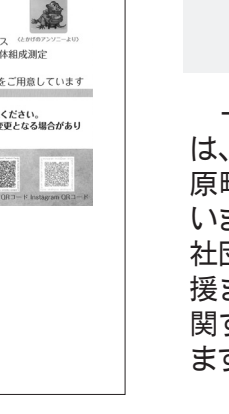
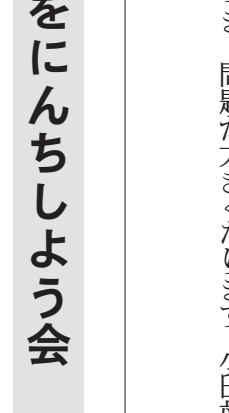
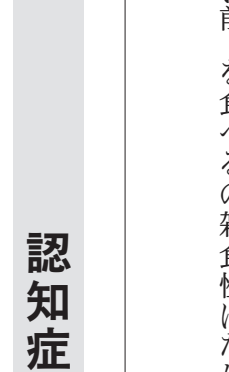
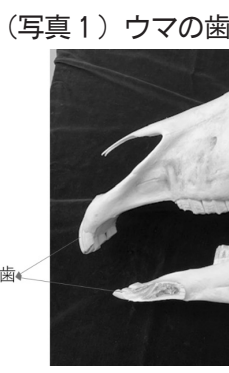
おわりに今回の動物の歯に関しては小田原市入生田にある生命の星 地球博物館の学芸員の協力で撮影したものです。生命の星・地球博物館では事前に連絡してもらえば、希望する標本を用意してくれるそうです。興味のある方は連絡してみてください。

小田原歯科医師会事務局

一般社団法人小田原歯科医師会は、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の歯科医師会会員で構成されています。このホームページでは、一般社団法人小田原歯科医師会が主催、後援または協力している事業とそれに関する情報やお知らせを紹介しています。

TEL. 0465(49) 1311 FAX. 0465(49) 1551 〒250-0875 小田原市南鴨宮2-27-19 https://odawara-dent.or.jp/ 小田原歯科医師会 検索

歯と口腔に関わるご相談、住診・歯科訪問診療のご相談は 一般社団法人小田原歯科医師会 地域支援歯科連携室 まで TEL/FAX 0465(49) 1319 月~金 午前9時~正午 午後1時~午後5時



(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) 2019年度開催イベントの集合写真

(写真1) ウマの歯

(写真2) トラの歯

(写真3) 成人男性の下顎の歯